



使徒継承

七十人の一人、聖エウオディオスから、シリア正教会
アンティオキア総主教庁を経て、現在に至る

この継承の系譜に連なる

主教

Garland F. Byers, Jr., J.D., D.D.

諸国民への主教、使徒的委任のもとに



1. 聖エウオディオス、七十人の一人^{CO}

紀元30年頃、七十人の一人としてキリストに遣わされた（ルカ伝福音書10:1）

紀元53年頃、聖ペテロの後のアンティオキア初代主教

この使徒継承の系譜は、紀元30年頃の使徒エウオディオスから今日にまで
及び、2026年現在で1,996年にわたる。

聖エウオディオスからアンティオキア総主教Ignatius Peter IVまでの継承は、シリア正教会が保持するアンティオキア総主教の名簿に従う。これは、同教会が自らの使徒継承を、アンティオキアの初代主教であり聖エウオディオスがその後を継いだ聖ペテロにまでたどる、その同じ名簿である。

聖エウオディオスは正教会において七十人の一人である使徒として崇敬されており、正教会は9月7日に彼の祝日を守り、また1月4日に共に記念される七十使徒の中に彼を数えている。ローマ・カトリック教会は5月6日に、アンティオキアの主教聖エウオディオスとして彼を崇敬し、シリア正教会をはじめとする東方諸教会（オリエンタル・オーソドックス）も同様に彼を崇敬している。歴史家エウセビオスは紀元325年頃、彼を聖ペテロの後のアンティオキア初代主教として記録し、また紀元380年頃の『使徒憲章』は、聖ペテロが彼を任命したと記録している。

主教職への聖別は、以下に名を挙げる諸教会を通じて、一人から次の一人へと行われた。

この系譜の主教の中には、聖人としても崇敬されている者がいる。その名の傍らの印は、生涯の聖性のみにかかわる。それはいかなる聖別の有効性にもかかわらない。聖人として崇敬されているか否かにかかわらず、表に挙げたすべての主教は、継承において等しくその位置を占めている。

聖 聖人：英雄的な聖性の生涯を送り、今は神のもとにある者として教会が公に崇敬し、その記憶を暦において記念する人。初代教会では、聖人は信徒とその主教たちの称賛によって認められた。のちには、ローマ・カトリック教会では正式な列聖によって、正教会では列聖（glorification）によって認められるようになった。

福者 福者：ローマ・カトリック教会において、列福された人。列福は聖人としての列聖に先立つ正式な段階である。

C ローマ・カトリック教会により聖人または福者として崇敬されている。

O 正教会により聖人として崇敬されている。

CO ローマ・カトリック教会と正教会の双方で聖人として崇敬されている。

赤 殉教者：信仰のために命をささげた者。

誰が聖人であるかについて、諸教会の見解は常に一致するわけではない。ある教会が、他の教会が崇敬しない人を崇敬することもあり、印はそれぞれの聖人をどの教会が崇敬しているかを示している。

アンティオキア

アンティオキアの主教座。「弟子たちのキリストアンと稱へらるる事はアンテオケより始れり」（使徒行伝11:26）とあるこの主教座は、聖ペテロがローマに赴く前に創立した。アンティオキアの主教および総主教たち、聖エウオディオスの後を継いだ聖イグナティオスから、シリア正教会とギリシャ正教会が共通して数える最後の総主教であるSeverusまで。

2. 聖イグナティオス^{CO} 殉教者 68
3. Heron I 100

4. Cornelius 127
5. Heron II 151
6. 聖 Theophilus^{CO} 169
7. Maximus I 188
8. 聖 Serapion^{CO} 191
9. 聖 Asclepiades^{CO} 212
10. Philetus 218
11. Zebinus 232
12. 聖 Babylas^{CO} 殉教者 240

13. Fabius	253
14. Demetrian	256
15. Amphilochius	263
16. サモサタの Paul	267
17. Domnus I	270
18. Timaeus	273
19. Cyril	277
20. Tyrannion	299
21. Vitalius	308
22. 聖 Philogonius ^{CO}	314
23. Paulinus	324
24. 聖 Eustathius ^{CO}	325
25. Eulalius	332
26. Euphronius	333
27. Flacillus	334
28. Stephen I	341
29. Leontius	345
30. Eudoxius	350
31. 聖 Meletius ^{CO}	354
32. Anianus	357
33. Euzoius	360
34. Dorotheus	370
35. Paulinus II	371
36. Vitalius II	376
37. 聖 Flavian I ^{CO}	384
38. Porphyrius	404
39. Alexander	408
40. Theodotus	418

41. John I	427
42. Domnus II	443
43. Maximus II	450
44. Basil	459
45. Acacius	459
46. Martyrius	461
47. 縮絨工 Peter	465
48. Julian	466
49. John II	475
50. Stephen II	490
51. Stephen III	493
52. Calandion	495
53. John Codonatus	495
54. Palladius	497
55. Flavian II	505
56. Severus	513

シリア正教会総主教庁

518年のSeverusの罷免以降、シリア正教会のアンティオキア総主教たち（同教会が保持する名簿による）から、Ignatius Peter IVに至る。Ignatius Peter IVは1877年、インドの教会のためにコッタヤム主教Paulose Mar Athanasiusを聖別した。

57. テラの Sergius	544
58. 黒の Paul II	564
59. カリニコスの Peter III	581
60. Julian II	591
61. Athanasius I Gammolo	595
62. セドラ祈祷文の John III	631
63. Theodore	649

64. Severus II bar Masqeh	668
65. Athanasius II Baldoyo	684
66. Julian III	687
67. Elias I	709
68. Athanasius III	724
69. Iwannis I	740
70. George I	758
71. Joseph	790
72. ティクリートの Quriaqos	793
73. Dionysius I Telmaharoyo	818
74. John IV	846
75. Ignatius II	878
76. Theodosius Romanus	887
77. Dionysius II	897
78. John V	910
79. Basil I	923
80. John VI	936
81. Iwannis II	954
82. Dionysius III	958
83. Abraham I	962
84. John VII Sarigta	965
85. Athanasius IV Salhoyo	987
86. John VIII bar Abdoun	1004
87. Dionysius IV Yahyo	1031
88. John IX bar Abdun	1049
89. Athanasius V Yahyo	1058
90. John X bar Shushan	1064
91. Basil II	1074

92. John bar Abdun	1075
93. Dionysius V Lazarus	1077
94. Iwannis III	1086
95. Dionysius VI	1088
96. Athanasius VI bar Khamoro	1091
97. John XI bar Mawdyono	1130
98. Athanasius VII bar Qatra	1139
99. シリア人 Michael I	1166
100. Athanasius VIII bar Salibi	1199
101. John XII	1208
102. Ignatius III David	1222
103. Dionysius VII Angur	1252
104. John XIII bar Ma'dani	1252
105. Ignatius IV Yeshu	1264
106. Philoxenus I Nemrud	1283
107. Michael II	1292
108. Michael III Yeshu	1312
109. Basil III Gabriel	1349
110. Philoxenus II	1387
111. Basil IV Simon	1421
112. Ignatius Behnam Hadloyo	1445
113. Ignatius Khalaf	1456
114. Ignatius John XIV	1484
115. Ignatius Noah	1494
116. Ignatius Yeshu I	1509
117. Ignatius Jacob I	1512
118. Ignatius David I	1519
119. Ignatius Abdullah I	1521

120. Ignatius Ni'matallah	1557
121. Ignatius David II Shah	1576
122. Ignatius Pilate	1591
123. Ignatius Hidayat Allah	1598
124. Ignatius Simon	1640
125. Ignatius Yeshu II	1655
126. Ignatius Abdulmasih I	1662
127. Ignatius George II	1687
128. Ignatius Isaac II	1709
129. Ignatius Shukrallah II	1723
130. Ignatius George III	1746
131. Ignatius George IV	1768
132. Ignatius Matthew	1782
133. Ignatius Yunan	1817
134. Ignatius George V	1819
135. Ignatius Elias II	1838
136. Ignatius Jacob II	1847

137. Ignatius Peter IV	1872
------------------------------	------

インド、セイロンおよびアメリカ合衆国 —

Paulose Mar Athanasius から、各主教はその前に掲げた主教によって聖別された。1892年、Mar Athanasius と Mar Julius I は、パルマラの聖グレゴリオス（Gregorios）と共に、総主教の許しにより、セイロンのコロンボにおいて Joseph René Vilatte を聖別した。

138. Paulose Mar Athanasius	1877
139. Antonio Francisco Xavier Alvares	1889
(Mar Julius I)	
140. Joseph René Vilatte (Mar	1892
Timotheos)	
141. Francis John Edmund Barwell-	1923
Walker	
142. Emile Rodriguez y Fairfield	1961年頃
143. Nils Bertil Alexander Persson	1986
144. Samuel Guido, Jr.	2004

145.

Garland F. Byers, Jr.

2013

シリア正教会アンティオキア総主教と共有する継承

現在のシリア正教会アンティオキアおよび全東方の総主教である総主教 Ignatius Aphrem II とバイヤーズ主教は、聖エウオディオスから総主教 Ignatius Peter IV（1872–1894年アンティオキア総主教）に至るまで、同一の使徒継承の系譜を共有している。総主教 Peter IV は、両系譜の源となる主教たちを自らの手で聖別した。すなわち、総主教 Aphrem II の系譜においては、後の総主教 Ignatius Abded Aloho II で

ある Gregorios Abded Aloho を1872年に、バイヤーズ主教の系譜においては、コッタヤムの主教 Paulose Mar Athanasius を1877年に聖別した。



聖職

按手

2008年8月17日、按手により。ペンシルベニア州パーマー トンの St. Paul's Lutheran Orthodox Chapelにて。

主教聖別

2013年4月20日、聖餐の執行の中で按手により。St. Paul's Lutheran Orthodox Chapel（この日はペンシルベニア州スラティントンの American Legion Post 16で集会）にて。

主聖別者

主教 Samuel Guido, Jr.

共同聖別者

Bradley A. Varvil 主教

Michael Byus 主教

James Thompson 主教

按手および主教聖別の証書は、主教聖別の写真とともに、[主教についてのページ](#)に掲載されている。

奉仕

2013年4月20日、Lutheran Orthodox Church, Inc. において主教聖別を受け、その後同団体において Western North Carolina 教区の大主教を務めた。バイヤーズ主教は現在、同団体に所属していない。

名誉神学博士 (honoris causa)、Lutheran Orthodox Church, Inc. より授与、2013年4月20日。



本ページの日本語の聖句は、すべて文語訳聖書（旧約：明治元訳、1887年／新約：大正改訳、1917年、日本聖書協会）から引用しています。いずれもパブリックドメインです。本文：[ウィキソース](#)。聖句は抜粋して引用しており、省略箇所は「.....」で示しています。

アンティオキアの聖エウオディオス、イタリア派、17世紀。[Wikimedia Commons](#)経由、パブリックドメイン。原画からサイズ変更を施した。